

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、競技を進行する。

2. 練習場及び練習について

- (1) 本競技場内は、準備の都合上、練習には使用しない。練習及びアップについては、補助競技場を使用すること。
- (2) 補助競技場(武道館南側)の使用時間は、午前8時から最終競技招集完了時刻までとする。ただし補助競技場に入場できる者は競技者及び引率者・保護者とする。補助競技場へは引率者同伴で行き、競技役員にアスリートビブス・IDカードを提示する。練習は競技役員の指示を守り、安全に十分注意して練習すること。練習以外のために使用することは認めない。
- (3) 補助競技場のレーン使用区分は、原則として次のとおりとする。
 - ◇1、2レーンは1000m・800m走
 - ◇ホームストレート3～6レーンは短距離走
 - ◇バックストレート3～8レーンはリレー
 - ◇ホームストレート7レーンは80mH走、8レーンは60mH走(必要に応じてレーンを増やす)
 - ◇フィールド内(芝生)はボール投げ(ウォームアップ場係の指示に従うこと)、跳躍ピットは走り幅跳び・走り高跳び(準備が出来次第、競技役員の指示に従って行うこと)
 - ※ 用器具は、ソフトボール(グラブ)、バトン以外は持ち込まない。
 - ※ リレーに使用するスタートマークは使用者または引率者が責任をもって取る。

3. 競技者の招集方法について

- (1) 競技に出場するためには、学校受付をし、決められた時間内に招集場所での係員による受付(コール)が必要。招集場所は全種目第1ゲート内とし、招集に遅れた場合、当該種目を棄権したものと判断し処理する。招集所へ移動する際、そのまま競技に参加できるよう(スパイクは手に持ち、上着は着用してよい)準備をしておく。
- (2) 競技者は、招集開始までに、事前に記入した体調管理チェックシートをエントランスの諸届け受付に提出し、引き換えにもらったアスリートビブスを付けること。
- (3) 4×100mリレーに出場するチームは、エントランスの諸届け受付にあるリレーオーダー用紙に記入し、8時20分までに諸届け受付に提出すること。
- (4) 招集は、競技開始40分前から始め、20分前に完了とし、競技役員の最終点呼を受ける。なお、トイレに行くなどやむをえない場合のみ、競技役員に申し出て許可を得ること。同時にアスリートビブス・腰ナンバー標識、シューズ、衣類など、競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。

4. アスリートビブス(ナンバーカード)・腰ナンバー標識(腰ゼッケン)について

- (1) アスリートビブスは、ユニホームの胸に固定する。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用に、競技役員より受け取った腰ナンバー標識を所定の位置(右側の腰辺り)に付けること。

5. 競技について

- (1) その競技に出場している競技者以外は、競技場内(トラック・フィールド)に立ち入ることはできない。
- (2) 決勝の組み合わせ、及びレーン順、試技順は競技場用コンピュータにより公正に番組編成する。

トラック競技について

- (1) 100m走・60mH走・80mH走・4×100mリレーの出発姿勢はクラウチングスタートとする。スタートはイングリッシュコマンドで行う。2回目以降に不正スタートをした競技者を失格とする。その場合、走ることはできるが、参考記録とする。(順位に反映されない)
- (2) 100m走・60mH走・80mH走・4×100mリレーの各走者は、自他の安全のため、審判の指示があるまで自分の割り当てられたレーン内にとどまる。
- (3) 4×100mリレーのバトンパスは、30mのテイクオーバーゾーン内で行う。
- (4) バトンは大会が用意したものを使用する。スタートマークを使用したいチームは、主催者が準備した黄テープを招集所で受け取る。スタートマークは各自1箇所のみを使用とする。ただし、使用したチームはレ

ース後、責任をもってテープを取るようにする。

- (5) スターティングブロックは、100m走・60mH走・80mH走・4×100m リレーで使用してもよい。すぐ設置できるよう練習しておくこと。
- (6) 100m走・60mH走・80mH走は、タイムレースとし、決勝進出できる競技者は8名とする。ただし、8番目の記録と同記録(0.001秒での判定)の者が複数で9名になる場合は、9レーンを使用してレースを行う。また、10名以上の場合は、8番目の記録と同記録の者により抽選を行い、決勝進出者を決定する。
- (7) 4×100mリレー・1000m走・800m走は、予選を行わず、タイムレース決勝とする。
- (8) リレーのみエントリーの競技者で、補欠や不測の事態などでリレーに出場しなかった競技者(希望者)を対象に、100m走友好レース(オープン種目)を行う。友好レースについては、100m走種目の順位に含めないこととする。友好レース出場の際は「友好レース出場届」を8時20分までにエントランスの諸届け受付に提出すること。

フィールド競技について

- (1) 走り幅跳びとソフトボール投げは、まず3回の試技を行い、記録の上位8名の選手は、さらに3回の試技を行うことができる。8位の競技者が複数出た場合は、2番目以降の記録で順位決定を行う。順位決定については、合計6回の試技全ての記録により決定する。
- (2) 走り高跳びは、以下のルールで競技を行う。
 - ① 走り高跳びは、はさみ跳びとし、マットへの着地は足裏からで、背中、腰からの着地は無効試技とする。
 - ② マーカーが必要な競技者は主催者が用意したものを使用する。なおマーカーは各ピットで競技役員が配付し、助走路に2個まで置くことができる。
 - ③ バーの上げかたは、5cmとする。
 - 男子…(120cm…練習) 120、125、130、135、140cm……
 - 女子…(115cm…練習) 115、120、125、130、135cm……但し、競技者が一人になった場合には、本人の希望の高さで試技を続けることができる。また、1位が複数の時には、2cmの幅の増減により順位を決定する。

6. 表彰について

各種目1位～8位までに賞状を渡す。(表彰式は行わない。代表者がエントランスホールに取りに来る。)

7. 競技用靴について

- (1) 競技用靴は運動靴または陸上競技用スパイクシューズ(ピンの数は11本以内の平行ピン、長さ9mm以下)とし、ニードルピン及び素足は認めない。ただし、1000m走・800m走は、スパイクシューズは認めない。
- (2) スパイクシューズの着用は、競技場内のトラック・フィールド部分のみとし、スタンドや通路、正面玄関前では絶対着用しないこと。
- (3) 県学童記録、大会記録が出た場合は、靴底の厚さの計測を行う場合がある。詳しくは、陸上競技ルールブックを確認すること。

8. その他

- (1) 競技結果は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため掲示は行わず、アナウンス・電光掲示板及び岡山陸上競技協会ホームページで随時紹介する。(プログラム最終ページのQRコードから閲覧可能)
- (2) 本競技会では、競技者は全員傷害保険に加入する。競技中に発生した傷病・疾病については医務室(エントランスホールから入り、ダッグアウト下の通路をゴール方向に行ったところ)で手当てをするが、傷害保険の加入範囲及び現場での応急処置以外の責任を主催者は一切負わない。また、応急処置後の治療費は個人負担とする。なお、本競技会に関わる全ての人の感染に対する責任を主催者は一切負わない。
- (3) 貴重品の管理は各自で行う。紛失・盗難にあっても主催者はその責任は一切負わない。
- (4) 競技場は禁煙である。また、その他の競技場使用マナーを遵守すること。(よごさない・傷つけない・迷惑をかけない・けがをしない・させない。)
- (5) プログラム記載事項に訂正がある場合は、出場競技の招集開始前までに責任者が「プログラム訂正届」をエントランスの諸届け受付に提出すること。
- (6) 声を出しての応援はしない。また、観戦の際はソーシャルディスタンスを守り、間をあけて座ること。